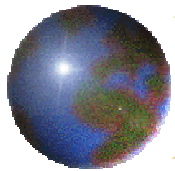


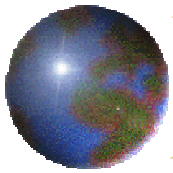
*ICANNウェリントン会合
政府諮問委員会報告
(平成18年3月25日～3月28日)*

平成18年4月25日
総務省データ通信課
系 将之



目次

	頁
1. G A Cメンバー構成とG A C事務局	3
2. G A Cの在り方（新WG7）	4
3. 新gTLD原則、「.xxx」	5
4. Whois、IPv6アドレス	6
5. 副議長改選	7



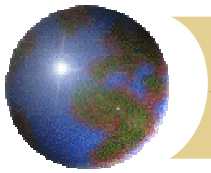
1. GACメンバー構成とGAC事務局

(1) メンバー構成

- 33カ国及び3国際機関から約70名が参加
- 現在、計109メンバーが登録
 - 政府: 100カ国
 - 国際機関(オブザーバー): 9機関

GAC事務局

- これまで欧州委員会がGAC事務局をホスト
 - 前回バンクーバー会合で6月末での打ち切りを表明
 - インド政府とICANNがホスト受け入れを提案
- 今回会合での合意事項
 - インド政府が早急に欧州委員会からGAC事務局を引き継ぎ
 - 長期的な事務局の在り方は引き続き検討 新WG7



2. GACの在り方(新WG7)

新WG7

引き続き中長期的なGACの在り方についてカークリンス ラトビア大使(前WSIS準備会合議長)を中心に検討。以下の2つのプロセスを重要事項として検討。

-) GACメンバーの拡大、アウトリーチの発展、人材育成及び国際的参加の拡大。
-) ICANNフレームワークに関連し、WSISの結果を考慮する形で、公共政策課題をより効率的に扱うための改善。

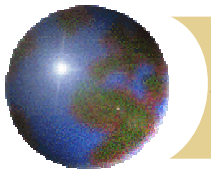
理事会－GAC Joint Working Group

以下の2名をそれぞれの調整役として選出

理事会：ピサンティ理事

GAC：カークリンス ラトビア大使

今後、ICANNの文脈での「enhanced cooperation」を念頭に、GACと理事会との間で定期的に意見交換する方策を検討



3. 新gTLD原則、「.xxx」

新gTLD導入等、gTLDに関連する公共政策課題を中心に議論。

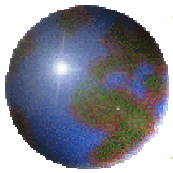
新gTLD原則

- ・ GNSOを中心に検討されている開発ポリシー(PDP)に対し、GACとしてインプットを行うため、新しいgTLD導入に係る公共政策の方針策定について検討

新sTLD導入

【.xxx】

- 米国、欧州、豪州等から承認反対の意見が提出
- GACとして以下の内容の会合報告を行う旨合意
 - ICANN理事会の承認プロセスに関する説明を要求
 - 数カ国は「.xxx」そのものに反対の旨明記



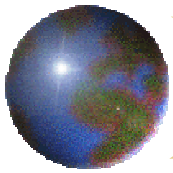
4 . Whois、IPv6アドレス

1 . Whois

- ICANNの定める個人情報保護規定と各国法制との乖離、およびWhoisの在り方について今後検討

2 . IPv6アドレス

- GACにおいてIPv6に関する問題を検討するWGを藤本が議事。
- 各国に対し、現在すすめられているICANNから地域インターネットレジストリ(RIR)へのIPv6アドレス割振り方針の承認作業の進捗について説明。



5 . 副議長改選

3 . 副議長選挙

- GAC副議長3席のうち、2席が空席
以下の2名を暫定副議長に選出
 - Pankaj Agrawala (インド)
 - Frank March (ニュージーランド)
- 次回モロッコ会合で正式に選出